

BCG（結核）

☆BCGワクチンは、抵抗力（免疫）の弱い赤ちゃんが結核を発症したり、重い症状の結核になることを防ぐために接種します。

☆BCGワクチンを接種することで、体のなかに結核菌への抵抗力（免疫）ができます。

☆BCGワクチンは、二の腕の外側の真ん中あたりに2か所、スタンプを押すように接種します。

☆このワクチンは1歳になるまでに接種することになっています。

☆BCGワクチンは生ワクチンです。

■予防接種の受け方

いつ受けるの？

接種年齢 1歳未満
(標準的な接種年齢：生後5か月以上8か月未満)

持っていくものは？

母子健康手帳、BCG予防接種予診票、
子ども医療費受給資格者証など

どこで？

福島市登録医療機関に予約してください

回数は？

1回

■おこるかもしれない体の変化（副反応）

- BCGワクチンを接種した後、わきの下や足のつけ根など（リンパ節）がはれたり、全身に赤みがでたりすることがあります。
- 接種による普通の反応として、接種後、10日頃に接種個所に赤いポツポツや、一部に小さいうみができることがあります。その後、かさぶたになり、接種から3か月後には治ります。このような反応は特に心配はいりませんが、まれに大きなうみになる場合は、治療が必要になることがあります。
- ただし、これらの反応が接種後10日以内にでたら、すぐに接種医に相談してください。すでに結核菌に感染している可能性があります。
- きわめてまれに、アナフィラキシー（急激なアレルギー反応）骨炎、全身播種性BCG感染症（ワクチンが原因の結核症状）などの重い症状があらわれることがあります。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに接種医に相談してください。

